



「科学技術・イノベーション政策2020」発表会

主な府省庁の令和2年度予算に見る

- 日時: 2020年1月27日(月) 12:30~18:30
- 場所: 学士会館 2階210号室

入場無料

「2020年・東京オリンピック・パラリンピック開催→2025年・大阪万国博覧会開催→2030年国連SDGs開発目標年」。日本の国際競争力の再生にとって、この“5年刻み”は絶好のチャンスだ。今年度に第5次科学技術基本計画が終了し、来年度から第6次がスタートする。特許、論文から企業や大学の比較など、国際ランキングの低下が叫ばれ、最近では国際会議での日本人の姿が極端に減った。こうした退潮傾向に歯止めをかけ、日本がもう一度、世界のリーダー国として復活すべき時の到来である。

昨年度に政府が打ち出した発明から実装まで一気通貫の「予算1000億円のムーンショット制度」が順調に展開しており、政府主導型の巻き返しの動きが軌道に乗ってきた。それは「Society5.0+SDGs」と言われる。新国際化戦略として、外務省は国連SDGsと科学技術外交を掲げる。米国からの武器購入を中心に、防衛予算は増大する一方だ。

民間では、遂に500兆円の大台を突破した「企業内部留保」を有効に動かすべき局面に立つ。自動車産業の100年に1度のIT産業との融合戦略は、トヨタ自動車とソフトバンクグループのように急速に進行中であり、バイオ産業など素材産業は依然世界でも名実ともに実力を保持する。オープンイノベーションの考え方は常識化し、技術・企業買収のM&A戦略も容易になった。自然災害からの復興、原子炉廃炉技術とエネルギー転換など「失われた30年」から脱却し、「時価総額経営」を支柱にした「日本版GAFA」の輩出が今後の大きな目標となろう。

◆説明府省◆

**内閣府(内閣官房)、総務省、
文部科学省、厚生労働省、
農林水産省、経済産業省、
国土交通省、環境省、防衛省**

◆説明内容◆

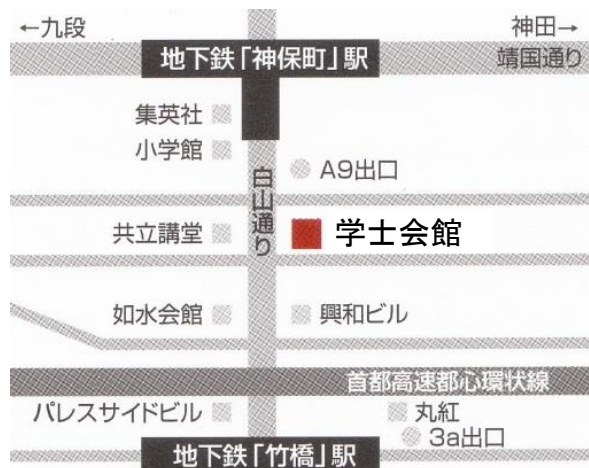
「令和2年度における科学技術・イノベーション政策への各府省庁の取り組み」
(令和2年度の当初予算額、新規政策、継続重点政策と今後の対策など)



●日時:2020年1月27日(月) 12:30~18:30 ●場所:学士会館 2階210号室

◆発表会の概要◆

- 12:30 開場
- 13:00~13:30
- ・開会 橋田忠明副会長兼専務理事
 - ・司会 林裕子山口大学大学院技術経営研究科特命教授
 - ・主催者挨拶 白井克彦会長(早稲田大学名誉顧問(元総長))
 - ・来賓挨拶と概況説明
松尾泰樹内閣府政策統括官(科学技術・イノベーション担当)
- 13:30~15:30 4府省(1府省当たり20分+質疑応答10分)
- 13:30~14:00 内閣府(内閣官房)
 - 14:00~14:30 総務省
 - 14:30~15:00 文部科学省
 - 15:00~15:30 厚生労働省
- 15:30~15:40 <休憩>
- 15:40~18:30 5府省(1府省当たり20分+質疑応答10分)
- 15:40~16:10 農林水産省
 - 16:10~16:40 経済産業省
 - 16:40~17:10 国土交通省
 - 17:10~17:40 環境省
 - 17:40~18:10 防衛省
 - 18:10~18:30 総括コメント



【アクセス】学士会館
東京都千代田区神田錦町3-28
TEL: 03 - 3292 - 5936 (代表)

参加費:無料
※先着順

<お申し込み> 下記項目にご記入の上、FAXまたはEメール(motoffice@motjp.com)で、
2020年1月22日(水)までにお申し込み下さい。

●氏名: _____ ●役職: _____

●所属: _____

●住所: _____

●電話番号: () _____ ●FAX番号: () _____ ●Eメール: _____



FAX:03-3274-6085